



生物多様性に関する問題の原因は人間の暮らし

生物多様性が失われている原因のほとんどが、わたしたち人間の暮らしによるものです。そして、生物多様性に関する問題は、日本だけでなく、世界の環境問題となっています。

生物多様性に関する問題を引き起こす原因

開発

道路や工場、住宅などをつくるために、生き物のすみかがこわされています。



管理不足

雑木林などの管理が不足しているため、そこをすみかとする生き物が減っています。



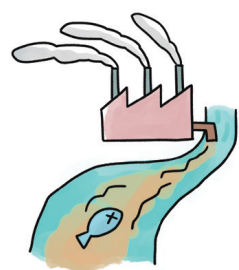
鳥獣による被害

ニホンジカなどが増えすぎて、木や草を食べつくして自然をこわし、他の生き物のすみかをうばっています。



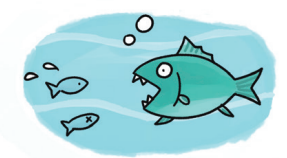
化学物質

農業などの化学物質が、生き物に悪い影響をあたえています。




外来種*

外来種が、その地域にもともといた生き物(在来種)を食べたり、すみかをうばったりしています。



地球環境の変化

人間の生活が原因の地球温暖化などによって、今までの生活ができなくなり、絶滅の危機にさらされている生き物がいます。



※もともとはいなかった国や地域に、人間によって持ちこまれた生き物



* * * * *

もっと生物多様性を

知るために、本を読もう！

 * * * * *

「生物多様性の本箱」～みんなが生きるものをつなげる100冊～

<http://undb.jp/recommend/list2012/>

 * * * * *